

バイオマスタウン構想分析DB

[【リンク】小清水町バイオマスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口	面積
		公表回	公表年月日			(人)	(km ²)
34	2009.4.30			北海道	小清水町	5,753	287.04
構想の要約		馬れいしょの主産地である小清水町では、馬れいしょ澱粉を製造する際に工場から排出される澱粉排液及び澱粉粕の液肥化によるほ場還元や飼料化による家畜への利活用を図り、無駄の出ない資源循環型農業の確立を目指す。					
構想に盛り込まれた事業		①澱粉排液・澱粉粕・人参選果場規格外品有効活用 ②家畜排泄物(尿)(糞)利活用 ③家庭生ごみ利活用 ④下水道汚泥利活用					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオマスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス				
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど		資源作物
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部	○	
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材		
廃食用油		果樹剪定枝		
水産加工残さ		竹材		
製材工場等残材		その他()		
建設発生木材				
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草				
古紙・廃棄紙				
下水汚泥など	○			
その他()				

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	
飼料化	○	直接燃焼	
バイオマスプラスチック製造		ガス化	
その他()		炭化	
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	
		バイオディーゼル燃料化	
		バイオエタノール化	
		その他()	

バイオマスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事

実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

バイオマス利活用目標

(バイオマスタウン構想書からコピー)

(1) 利活用目標

澱粉工場からの副産物、澱粉粕及び澱粉排液については、それぞれ新技術の導入及び人参選果場規格外品を活用し、澱粉粕サイレージに澱粉排液から回収した馬鈴しょ蛋白や人参規格外品を混入して利活用の割合を高め、澱粉排液についても酸性処理を施し、より環境に配慮した効率的な活用を図ります。

また、家庭生ごみについては、家庭菜園用堆肥として品質及び利用率の向上を推進し、合わせて家畜排泄物、尿のゆう水化及び糞の堆肥化ともに適正利用をさらに進め、廃棄物系バイオマスの利用率90%以上、未利用バイオマスの90%以上を目指します。

バイオマスタウン構想概要図

(バイオマスタウン構想書からコピー)

概要図なし

実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	添付別紙(パンフレット等)参照
	(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)